

# 週間市場レポート (2020年3月16日~3月20日)

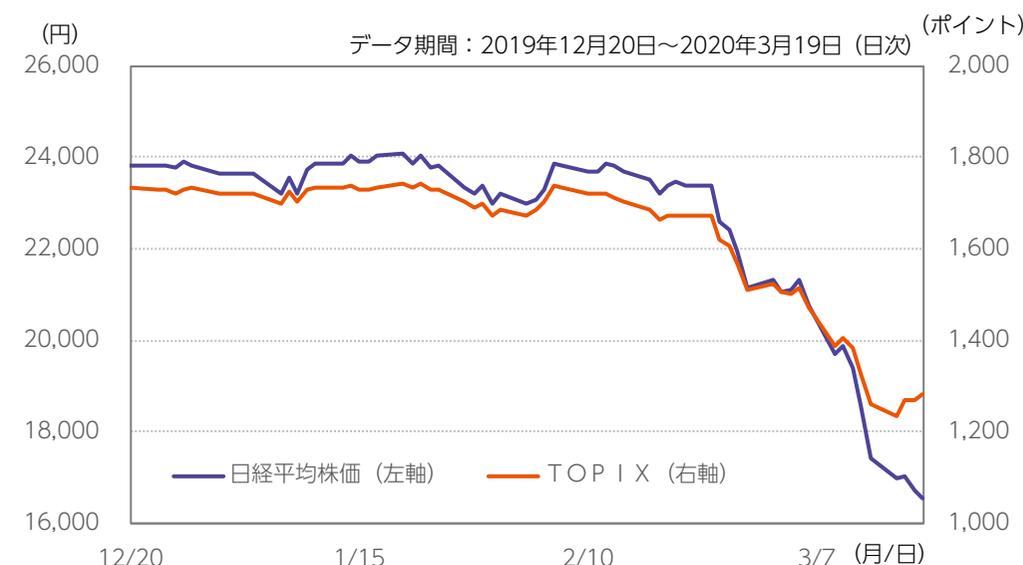
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/3/13	先週末 2020/3/20	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		17,431.05	16,552.83	▲ 5.04 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,261.70	1,283.22	1.71 ↑
ダウ工業株30種平均 (ドル)		23,185.62	19,173.98	▲ 17.30 ↓
S & P500種指数		2,711.02	2,304.92	▲ 14.98 ↓
ユーロ・ストックス50指数		2,586.02	2,548.50	▲ 1.45 ↓
S & P/ASX300指数		5,489.96	4,773.01	▲ 13.06 ↓
上海総合指数		2,887.43	2,745.62	▲ 4.91 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		726.52	667.79	▲ 8.08 ↓
東証REIT指数		1,596.30	1,145.53	▲ 28.24 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		674.03	509.73	▲ 24.38 ↓
ASX300 REIT 指数		1,351.90	986.20	▲ 27.05 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		163.60	125.47	▲ 23.31 ↓
日本10年国債 (%)		0.05	0.08	0.03 ↑
米国10年国債 (%)		0.96	0.85	▲ 0.11 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.54	▲ 0.32	0.22 ↑
英国10年国債 (%)		0.41	0.56	0.15 ↑
ドル/円		107.62	110.93	3.08 ↑
ユーロ/円		119.46	118.53	▲ 0.78 ↓
英ポンド/円		132.47	128.74	▲ 2.82 ↓
豪ドル/円		66.68	64.25	▲ 3.65 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,544.26	1,298.54	▲ 15.91 ↓
WTI原油先物 (ドル)		31.73	22.43	▲ 29.31 ↓
CRB指数		140.84	123.88	▲ 12.04 ↓
アレリアンMLP指数		572.33	482.46	▲ 15.70 ↓

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、世界的な景気後退懸念が高まり、主要国株式市場が下落したことを受けて、日本株式市場も週を通じて下落基調となりました。週初に、日銀が金融政策決定会合を前倒しで開催し、追加の金融緩和を打ち出したものの、株式市場の下支え効果は限定的となり、日経平均株価は終値ベースで6週連続下落しています。



≪ 債券 ≫

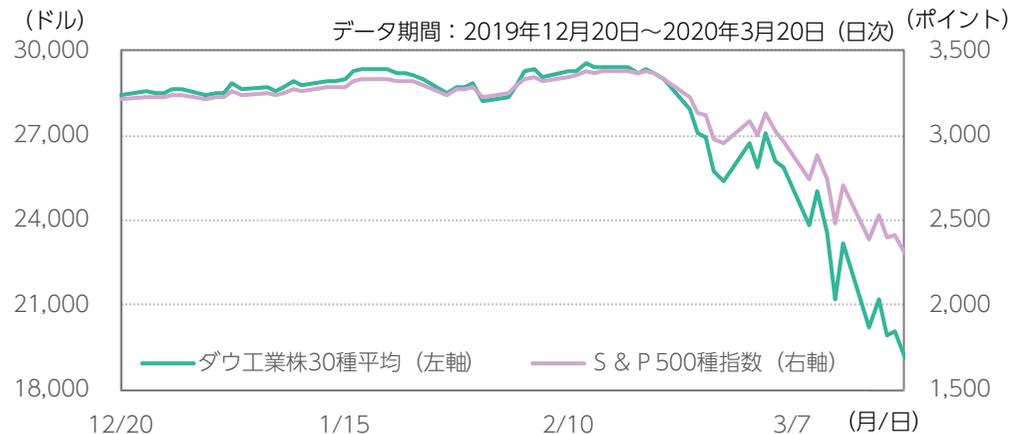
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。  
 新型コロナウイルスの感染拡大を原因とする景気後退への政策対応に伴う財政悪化（国債の増発）が懸念され、国内債券は売られる展開となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

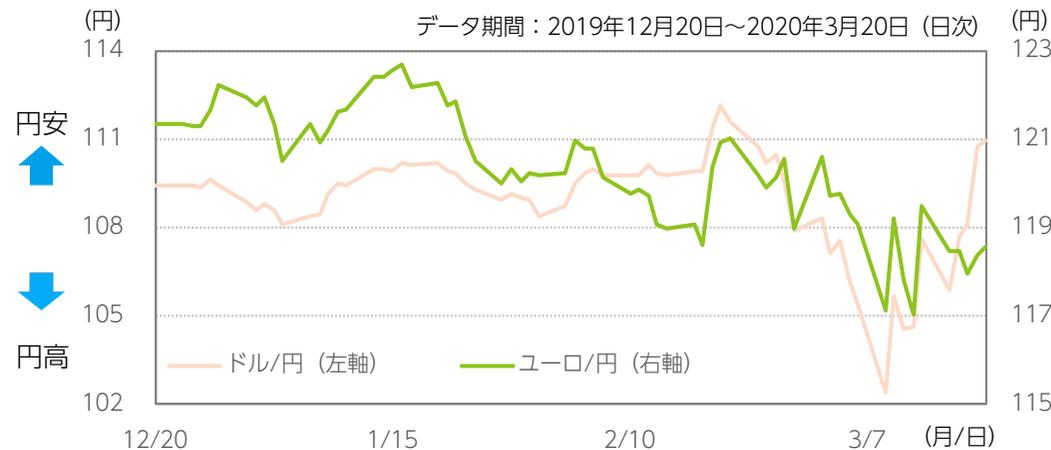
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で大幅に下落しました。  
 週初に史上最大の下落幅を記録した米国株式は、米国政府が検討している個人への現金支給を含む追加の政策対応を好感し一時値を戻したものの、景気後退懸念は根強く、その後も週を通じて下落基調が続きました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。  
 世界の金融市場の混乱により、投資家が運用資産を現金化し、ドルを確保する動きが強まったことで、円売りドル買いが進みました。一方、リスク回避姿勢の強まりから、米ドル以外の通貨に対しては円高基調となっています。



5) 今週の見通しについて

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は続いており、終息の兆しは見られません。世界各国が協調して金融緩和や資金供給の強化を実施しているものの、市場では金融政策だけでは対応が不十分との声も多く、世界的に株式市場の下落が止まりません（TOPIX（東証株価指数）は日銀によるETF購入等の影響もあり上昇しています）。

各国が協調して景気を下支えするためのあらゆる対応を行うことが確認されていますが、欧米諸国では新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するために外出禁止等の措置を実施しており、経済活動鈍化による景気低迷が予測されます。イタリアにおいて新型コロナウイルスを原因とした死亡者数が中国を超えるなど、欧州において新型コロナウイルスは猛威を奮っていることもあり、今週も引き続き株式市場は値動きが荒い展開が予想されます。

一方で、各国の政策対応が財政出動を中心としたものになることが明らかになれば、下落に歯止めがかかる可能性があるものと考えています。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>